

# 平成 16 年度ホタテガイ採苗情報 (第 8 報)

平成 16 年 6 月 4 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「今年の採苗数は、多い見込みです。」

## 1 ラーバの出現状況

6月2日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、殻長 200  $\mu\text{m}$  未満が 13 個/トン、200  $\mu\text{m}$  以上が 21 個/トンと、前回調査時(合計 88 個/トン)より減少しました。

なお、調査時の水深 10m 層の水温は 10.4 $^{\circ}\text{C}$ と、前回調査時とほぼ同じ値で、平成 9~15 年の平均値より 1 $^{\circ}\text{C}$ 程低い値となっています。

## 2 試験採苗器による付着稚貝調査

5月31日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区の各定点で付着稚貝が確認されました。

付着数は 1,363~4,742 個/袋と、全ての定点で 1,000 個/袋以上の稚貝が付着しています。

なお、唐丹湾では、付着稚貝の約 1 割が付着直後の個体でした。

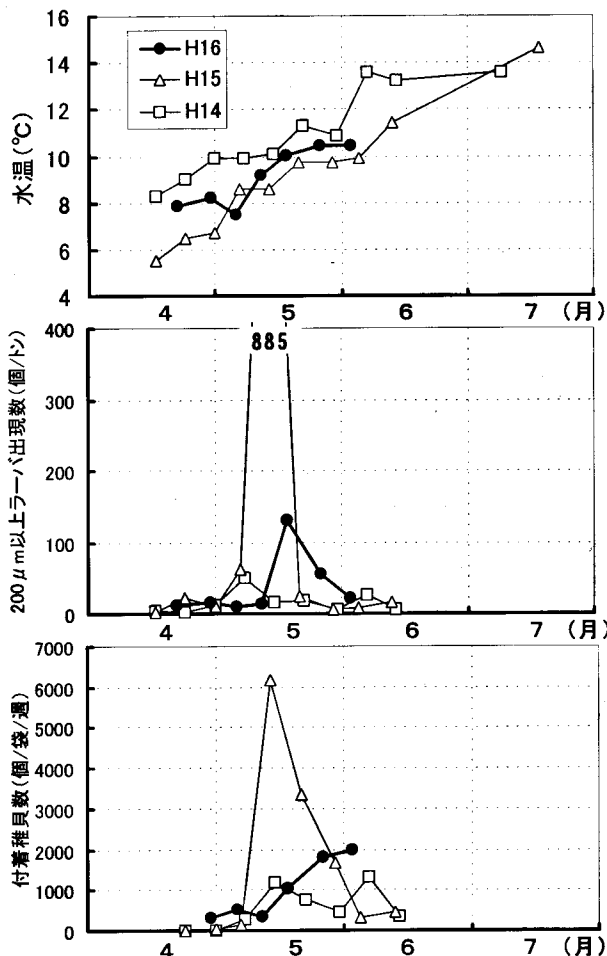


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

今年は、採苗数が非常に多かった平成 15 年や平成 11 年には及ばないものの、稚貝の付着が多い状態が 3 週間以上続いていることから、採苗数は多いものと予想されます。

なお、次報では、7月中旬に実施予定の付着稚貝調査の結果について、お知らせする予定です。

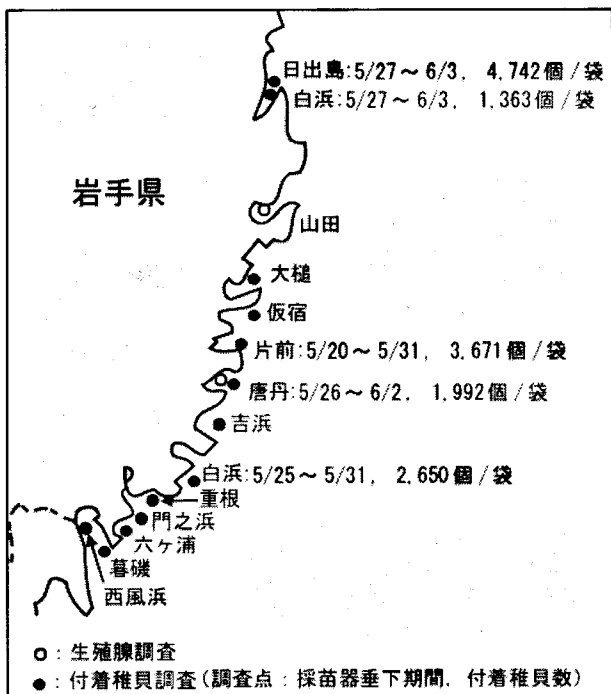


図 調査点と付着稚貝調査結果